

サラリーマン世帯の主婦 500 名に聞く「2007 年夏のボーナスと家計の実態調査」

「増えた」(49.2%)が「減った」(20.2%)の約 2.5 倍**平均手取金額は 77.9 万円**(平均 4.4 万円増)**主婦の“へそくり”(夫に内緒の資産)平均額は 267.9 万円****臨時ボーナスをあげたい人は、「ハニカミ王子」「ハンカチ王子」。**

損保ジャパン DIY 生命保険株式会社(代表取締役社長:塩田 修三)では、全国の 20~50 代の、サラリーマン世帯の主婦 500 名(各年代毎 125 名 平均年齢 39.6 歳)を対象に、2007 年夏のボーナスと家計の実態をテーマとしたアンケートを、6 月 15 日(金)~18 日(月)に実施いたしました。

今夏のボーナス「増えた」層が、「減った」層の約 2.5 倍となっています。景気拡大が戦後最長を更新しているように、ボーナスの支給額も緩やかな右肩上がりの曲線を描いているようです。しかしながらサラリーマン世帯への景気回復実感を与えるまでにはいかないようで、今後の家計の見通しは、半数以上が「厳しい」と考えているようです。

また、「へそくり(夫に内緒の資産)」を持っている主婦において、50 代以上の平均金額が 450 万円を超える結果となっており、年齢に比例して平均金額も増えているようです。また、夫に働いてもらいたい平均年齢は 64.6 歳でした。その年齢まで働いて欲しい理由については「年金が支給されるまで」との回答が最も多く、サラリーマン家庭における年金支給の期待の大きさが見て取れます。

第 14 回損保ジャパン DIY 生命アンケート「夏のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は、以下のとおりです。

「2007 年夏のボーナスと家計の実態調査」の主な結果

《2007 年夏のボーナス》

- ◆ 夏のボーナス「増えた」は 49.2%、「減った」は 20.2%。平均手取額は 77.9 万円。
<参考>2006 年夏:「増えた」49.8%、「減った」17.4%。
- ◆ この夏、臨時ボーナスをあげたい人は、「石川遼」、「斉藤佑樹」。
- ◆ 主婦としての働きに自分がもらうボーナス妥当平均手取額は、33.5 万円。
- ◆ ボーナス内から夫に小遣いを渡す主婦は、全体の 51.4%。平均小遣い額は、7.3 万円。
- ◆ ボーナスの使い道は「家族で仲良く相談」が全体の 67.6%。
- ◆ ボーナスをもらった時の気持ちを表す顔文字は、「(￣_￣)」 「(´-´)」 「\(^o^)/」。
- ◆ ボーナスを外貨でもらうとしたら、「米ドル」(55.0%)次いで「ユーロ」(24.0%)。

《家計の実態》

- ◆ 家計の現状は、「苦しい」(50.8%)、「楽である」(49.2%)。
 - ◆ 今後の家計の見通しは、「厳しくなっていく」(45.6%)が 4 割を超え、「楽になっていく」(19.8%)は 2 割弱。
 - ◆ 夫に内緒の資産(へそくり)を持っている主婦は 45.2%。平均へそくり額は 267.9 万円。
- ※世代別平均金額では、50 代以上の主婦が 450 万円を超える。最高金額は、3,000 万円。
- ◆ 夫に働いてもらいたい平均年齢は、64.6 歳。

《2007年夏のボーナス》

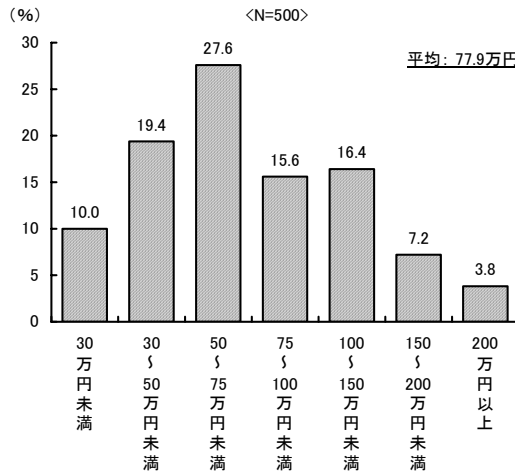
“増えた”(49.2%)がほぼ半数を占め、“減った”(20.2%)、「±0円(昨年と同額)」(28.2%)はそれぞれ2割。増減平均は+4.4万円。ボーナス手取り平均金額は77.9万円。

夫が受け取った夏のボーナス手取り金額を伺いました。

最も多いのは「50～75万円未満」(27.6%)で、次いで「30～50万円未満」(19.4%)、「100～150万円未満」(16.4%)、「75～100万円未満」(15.6%)の順となっています。

平均金額は77.9万円、最高金額は400万円です。

ボーナスの手取り金額

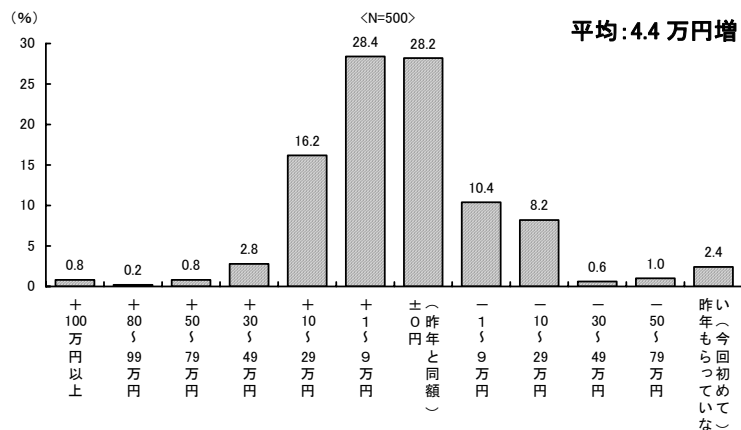


また、今年の夏のボーナス手取り金額は、昨年と比較した増減を伺いました。

“増えた”(49.2%)がほぼ半数を占めており、“減った”(20.2%)と「増えた派」の半数以下の結果となっており、また「±0円(昨年と同額)」(28.2%)が約3割の結果となっています。また、“増えた”という人では「+1～9万円」(28.4%)が最も多くなっています。平均は+4.4万円です。

昨年からの「実感なき景気回復」は引き続いているようです。

昨年と比較したボーナス手取り金額の増減幅



《臨時ボーナスをあげたいと思う人》

この夏、臨時ボーナスをあげたい人は、スポーツ界では「石川遼」(58件)「斉藤佑樹」(52件)「田中将大」(34件)の“ヤングパワー”、芸能界では「陣内智則」(33件)「藤原紀香」(12件)、政財界では「東国原英夫」(38件)が上位を占めました。

今年これまでに大いに活躍している人やグループで、臨時ボーナスをあげたいと思う人を芸能界、スポーツ界、政財界の3分野から自由にあげてもらいました。

芸能界では「陣内智則」(33件)が断然トップで、第2位にはその妻である「藤原紀香」(12件)がランクされています。また「陣内智則&藤原紀香夫妻」(3件)との回答もあり、芸能界ではこの2人に尽きるといった感があります。

スポーツ界では「石川遼」(58件)、「斉藤佑樹」(52件)、「田中将大」(34件)の“ヤングパワー”がトップ3を占めています。第4位には申し分のない実績を誇る「イチロー」(29件)があげられ、第5位には挑戦し続けるオールドパワーの代表ともいべき「桑田真澄」(24件)がランクされています。女性は全般にふるわず、トップ10のなかで「浅田真央」(8件)が唯一ひとり6位にあげられているだけです。ちなみに競技別に見ると野球選手が断然多く、トップ10に7人がランクされています。

政財界では全般にあげられている人が非常に少なく、「東国原英夫」(38件)が唯一ひとり面目躍如するにとどまっています。

全体的に“ヤングパワー”の若い世代が上位に選出されており、今年の上半期のヤングパワーの活躍が比例した結果となっています。

臨時ボーナスをあげたい人、トップ10

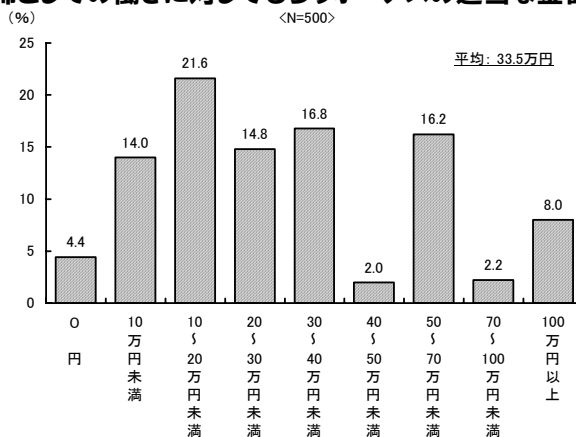
芸能界			スポーツ界			政財界		
順位	名前	件数	順位	名前	件数	順位	名前	件数
1	陣内智則	33	1	石川遼	58	1	東国原英夫	38
2	藤原紀香	12	2	斉藤佑樹	52	2	安部晋三	17
3	タカ・アンド・トシ	7	3	田中将大	34	3	小泉純一郎	5
4	みのもんた	6	4	イチロー	29	4	長妻昭	4
〃	松本人志	6	5	桑田真澄	24	※複数回答は上記4人のみ		
6	明石家さんま	5	6	浅田真央	8			
7	タモリ	4	7	松井秀喜	7			
〃	ムーディー勝山	4	〃	中村俊輔	7			
9	藤原紀香&陣内智則	3	9	岡島秀樹	6			
〃	玉木宏	3	10	松坂大輔	5			
〃	篠原涼子	3						
〃	菊池凜子	3						

《主婦としての働きに自分がもらうボーナス額と小遣い》

自分の働きぶりに対するボーナス額は、「10～20万円未満」(21.6%)が最も多く、次いで「30～40万円未満」(16.8%)、「50～70万円未満」(16.2%)。平均は33.5万円。
 ボーナスの中から夫に渡した小遣いに関して、「渡した」(51.4%)という人は全体のほぼ半数で、「渡さない」(23.6%)は2割強。渡した金額は「5～10万円未満」(15.2%)が最も多く、平均は7.3万円。

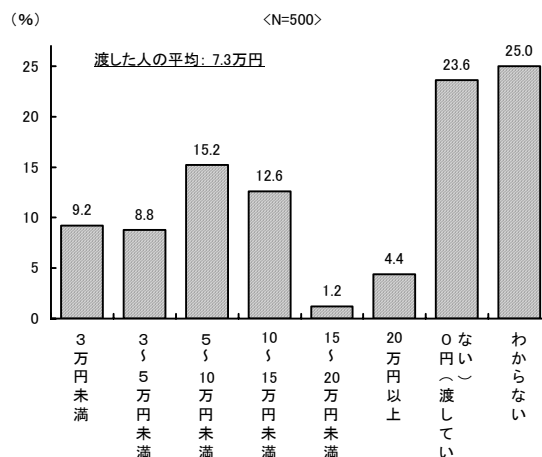
自分自身の主婦としての働きに対してボーナスをもらうとしたら、その金額はいくらぐらいがふさわしいと思うか、具体的な金額をあげてもらいました。
 最も多いのは「10～20万円未満」(21.6%)で、以下「30～40万円未満」(16.8%)、「50～70万円未満」(16.2%)、「20～30万円未満」(14.8%)、「10万円未満」(14.0%)が続いています。また、「100万円以上」との回答も8.0%ありますが、その一方で「0円(もらう資格がない)」も4.4%あり、主婦としての仕事ぶりに対する評価は千差万別です。
 平均は33.5万円となっており、今回のボーナスの平均手取額は77.9万円の約43%に当たります。ボーナスの半分近くは“主婦の力”によるものと考えているようです。「主婦は強し」の構図が、垣間見られる結果となっています。

主婦としての働きに対してもらうボーナスの適当な金額



また、この夏のボーナスの中から、ご主人に小遣いとしていくら渡した(渡そうと思っている)のか、その金額を聞きました。
 まず、「渡した」(51.4%)という人は全体のほぼ半数で、「渡さない」(23.6%)は2割強となっています。なお、「わからない」(25.0%)との回答も2割強あります。
 “渡した(渡す予定)”と回答した主婦がご主人に渡した金額を見ると、「5～10万円未満」(15.2%)が最も多く、以下「10～15万円未満」(12.6%)、「3万円未満」(9.2%)、「3～5万円未満」(8.8件)の順となっています。渡したという人の平均は7.3万円で、平均手取り金額の約10%がお小遣いとなっているようです。

ボーナスの中から夫に渡した小遣い



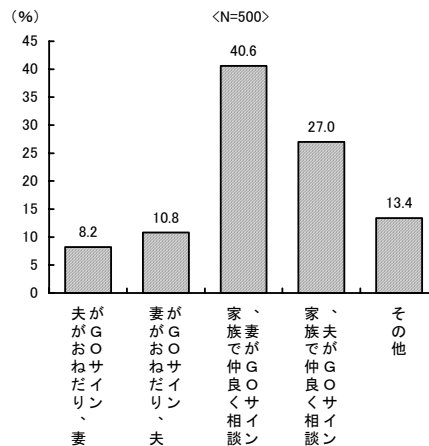
《ボーナスの使い道を決めた人》

「家族で仲良く相談、妻がGOサイン」(40.6%)が最も多く、次いで「家族で仲良く相談、夫がGOサイン」(27.0%)。

さらに、この夏のボーナスの使い道は誰が決めたのか聞いてみました。

最も多いのは「家族で仲良く相談、妻がGOサイン」(40.6%)で4割を占めています。次いで「家族で仲良く相談、夫がGOサイン」(27.0%)が多く、この2つをあわせると“家族で仲良く相談”(67.6%)が全体の7割近くを占めます。多くのサラリーマン家庭では、ボーナスは家族の絆を結びつける一大イベントになっているようです。

ボーナスの使い道を決めた人



《子供への恩恵》

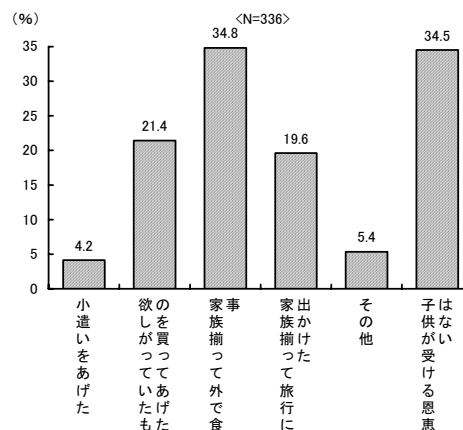
「家族揃って外で食事」(34.8%)が3割強、「欲しいものを買ってあげた」(21.4%)、「家族揃って旅行に出かけた」(19.6%)は2割。しかし、「恩恵はない」(34.5%)も3割強。

子どもたちは父親の夏のボーナスの恩恵に浴することができたのでしょうか。小学生以下の子どもさんがいるという家庭の主婦に、どのような恩恵を受けたのか聞きました。

最も多いのは「家族揃って外で食事」(34.8%)で、次いで「欲しがっていたものを買ってあげた」(21.4%)、「家族揃って旅行に出かけた」(19.6%)の順となっています。しかし、その一方で、「子どもが受ける恩恵はない」(34.5%)も3割以上あります。

なお、「小遣いをあげた」(4.2%)と回答した人に、いくらあげたのか具体的な金額をかさねて聞きました。「1,000円」から「100,000円」までの範囲で、最も多いのは「10,000円」(8件)という結果でした。

子供が受けたボーナスの恩恵



《夏のボーナスをもらった時の気持ちを表す顔文字》

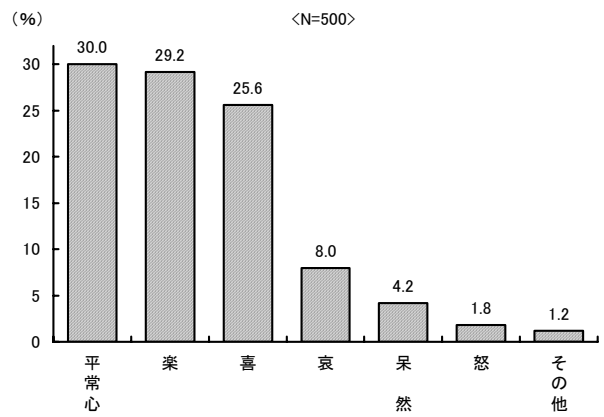
()「平常心」(30.0%)で、(^-^) 「楽」(29.2%)、\(^o^)/ 「喜」(25.6%)がトップ3。
 (:0;)「哀」(8.0%)、(. . ;)「呆然」(4.2%)、\(\O`д´O)!! 「怒」(1.8%)のマイナスの表情はごくわずか。

この夏のボーナスをもらったときの気持ちを顔文字で表すとしたら、どの顔文字がその時の気持ちに近いかに聞いてみました。

最も多いのは「平常心」(30.0%)で、「楽」(29.2%)、「喜」(25.6%)が続いています。「哀」(8.0%)、「呆然」(4.2%)、「怒」(1.8%)といったネガティブな表情はどれもごくわずかです。受給額に満足した方、満足できなかった方、いろいろな方がおいでになると思われますが、しかし、いずれの場合にも、ボーナスはサラリーマン世帯をポジティブな気持ちにさせてくれるものなのでしょう。

ボーナスをもらった時の気持ちを表す顔文字

喜	\(^o^)/
怒	\(\O`д´O)!!
哀	(;0;)
楽	(^-^)
呆然	(. . ;)
平常心	(<u> </u>)



《ボーナスを外貨でもらったら》

「米ドル」(55.0%)が最も多く、次いで「ユーロ」(24.0%)、「豪ドル」(9.4%)。

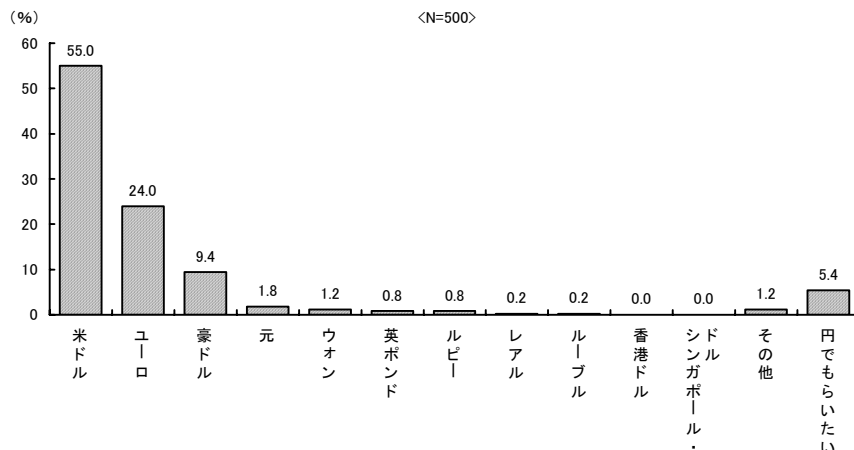
もしボーナスを外貨でもらうことになったら、どこの国の通貨でもらいたいかに聞きました。

最も多いのは「米ドル」(55.0%)で半数以上を占めています。次いで「ユーロ」(24.0%)、「豪ドル」(9.4%)の順となっており、そのほかいずれもごくわずかです。

どうしてその通貨で欲しいのか、その理由を聞いてみました。

最も多いのは「旅行で行きたい・行く機会が多い」(81件)で、次いで「安定している」(71件)が多くあげられています。このように、“国際的な通貨として使いやすい”こと、金利がよく安定しているといった“外貨預金に適している”ことが外貨でもらう条件となっているようです。

ボーナスをどこの外貨でもらいたい



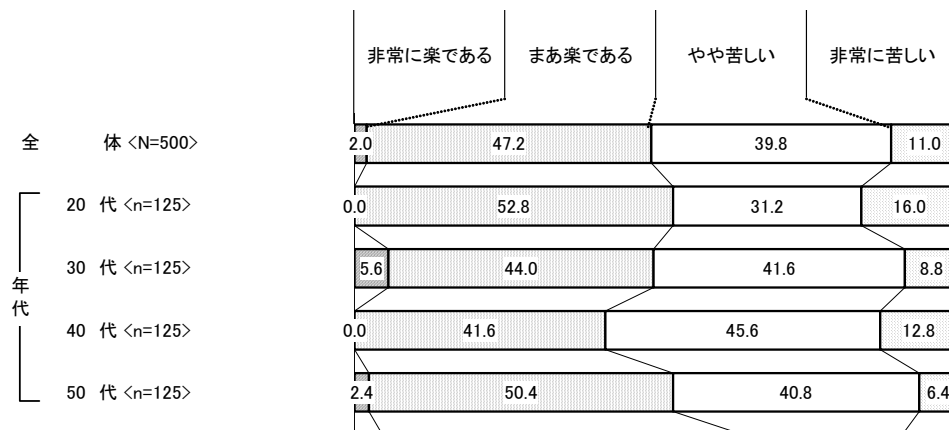
《家計の実態》

“楽である”(49.2%)と“苦しい”(50.8%)が拮抗するも、“苦しい”が上回る。

家計をやりくりしている主婦は、現在の家計を苦しいと感じているのでしょうか。サラリーマン世帯の家計の現状について聞きました。

「まあ楽である」(47.2%)が半数近いものの、「非常に楽である」(2.0%)はごくわずかで、両者をあわせた“楽である”(49.2%)は半数弱となっています。一方、「非常に苦しい」(11.0%)は1割を超え、「やや苦しい」(39.8%)もほぼ4割を占めており、両者をあわせると“苦しい”(50.8%)がわずかですが半数を上回っています。

家計の実態



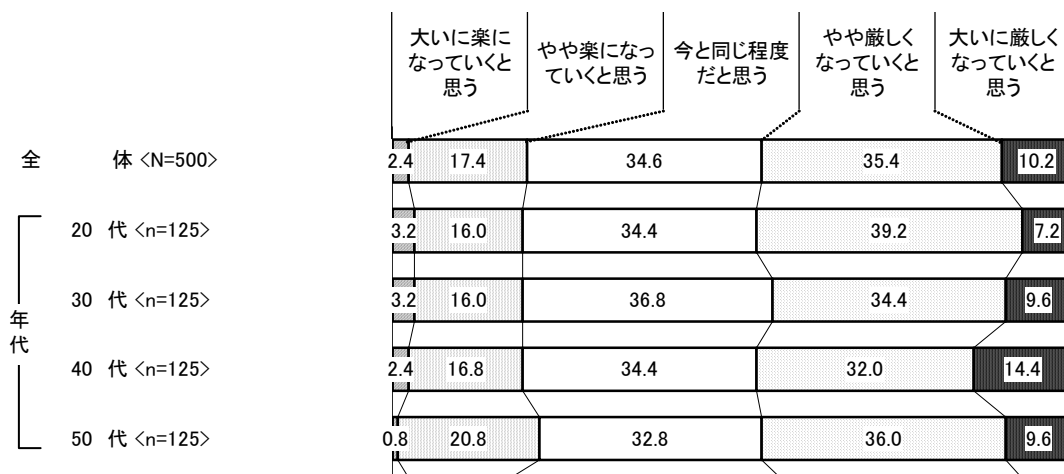
《家計の見通し》

“厳しくなっていく”(45.6%)が4割を超え、“楽になっていく”(19.8%)は2割弱。

今後の家計の見通しについてはどのように考えているのでしょうか。

「やや厳しくなっていくと思う」(35.4%)が最も多く、「大いに厳しくなっていくと思う」(10.2%)も1割となっており、両者を合わせると“厳しくなっていくと思う”(45.6%)が4割を超えます。一方、「大いに楽になっていくと思う」(2.4%)はごくわずかで、「やや楽になっていくと思う」(17.4%)をあわせても“楽になっていくと思う”(19.8%)は2割を下回っています。なお、「今と同じ程度だと思う」(34.6%)は3割強となっています。年金問題など、ここ最近家計に関して将来不安になるような問題が多く出てきている影響でしょうか。

今後の家計の見通し



《夫に内緒の資産は…》

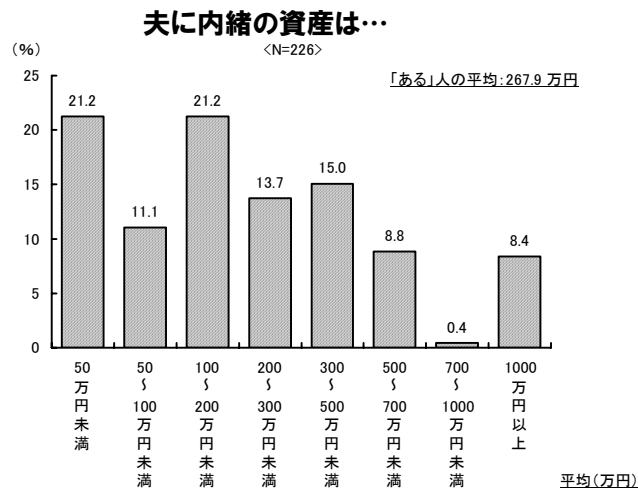
夫に内緒の資産を持つ主婦は 45.2%。その額は平均 267.9 万円。

サラリーマン世帯の主婦は、夫に内緒にしている資産（へそくり、結婚するときに持ってきたお金、結婚後貯めたお金など）をどれくらいの割合で、いくらくらい持っているのでしょうか。

「ある」(45.2%)が4割を超えており、「ない」(54.8%)が半数強となっています。

持っている資産額では、「50万円未満」「100～200万円未満」(各21.2%)が2割ずつで最も多く、以下「300～500万円未満」(15.0%)、「200～300万円未満」(13.7%)、「50～100万円未満」(11.1%)などが続いています。あるという人の半数以上は“200万円未満” (53.5%)ということです。その一方で、「1,000万円以上」(8.4%)も1割弱あります。

ちなみに、最高金額は3,000万円、平均金額は267.9万円です。



属性	項目	35.3	15.7	21.6	9.8	9.8	3.9	-	3.9	151.3
年代	20代 <n=51>	35.3	15.7	21.6	9.8	9.8	3.9	-	3.9	151.3
	30代 <n=62>	35.5	9.7	24.2	12.9	8.1	3.2	1.6	4.8	185.4
	40代 <n=55>	9.1	14.5	16.4	23.6	23.6	7.3	-	5.5	251.3
	50代 <n=58>	5.2	5.2	22.4	8.6	19.0	20.7	-	19.0	474.2
仕事の有無	正規有職 <n=30>	13.3	10.0	23.3	13.3	3.3	16.7	-	20.0	476.4
	パート・アルバイト <n=71>	18.3	14.1	19.7	12.7	19.7	8.5	-	7.0	250
	専業主婦 <n=125>	24.8	9.6	21.6	14.4	15.2	7.2	0.8	6.4	228
扶養の有無	いる <n=136>	24.3	13.2	19.9	14.0	15.4	8.8	-	4.4	211.7
	いない <n=90>	16.7	7.8	23.3	13.3	14.4	8.9	1.1	14.4	352.7
住居の種類	ある <n=103>	22.3	11.7	21.4	18.4	13.6	6.8	-	5.8	233.9
	ない <n=123>	20.3	10.6	21.1	9.8	16.3	10.6	0.8	10.6	296.3
世帯年収	600万円未満 <n=72>	38.9	15.3	19.4	8.3	11.1	2.8	-	4.2	145.2
	600～800万円未満 <n=55>	23.6	9.1	29.1	16.4	9.1	7.3	1.8	3.6	197
	800～1000万円未満 <n=44>	9.1	11.4	27.3	20.5	18.2	6.8	-	6.8	295.7
	1000万円以上 <n=55>	5.5	7.3	10.9	12.7	23.6	20.0	-	20.0	477.1

《夫に内緒の資産の目的》

「いざという時の備え」(59件)が最も多い。以下「自分のお小遣い」(30件)、「老後の備え」(24件)が続く。「目的はないが持っている」と安心」(23件)も多い。

妻は夫に内緒で何のために資産を持っているのでしょうか。資産を持っていると答えた主婦に、資産を持っている最も大きな目的や理由について聞きました。

最も多いのは「いざという時の備え」(59件)で他を大きく上回っています。また、「老後の備え」(24件)も多くあげられています。そのほか、「自分のお小遣い」(30件)、「自分の楽しみのために使う」(15件)や「自分の老後のため」(10件)、「離婚したときの備え」(7件)といった『自分のために使う』というものや、「目的はないが持っている」と安心」(23件)、「特に目的はない」(18件)などもあげられています。

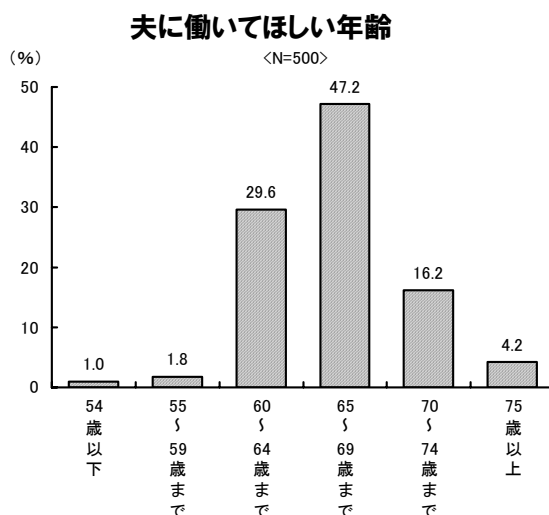
《夫に働いてほしい年齢》

「65～69 歳まで」(47.2%)が半数弱を占め、次いで「60～64 歳まで」(16.2%)。

サラリーマン世帯の主婦は夫に何歳くらいまで働いて欲しいと考えているのでしょうか。夫に働いて欲しいと思っている年齢を聞きました。

最も多いのは「65～69 歳まで」(47.2%)で、半数弱を占めています。次いで「60～64 歳まで」(16.2%)が多くあげられていますが、「70～74 歳まで」(16.2%)も少なくありません。

ちなみに、平均は 64.6 歳です。



次に、どうしてその年齢まで働いて欲しいのか、その理由を自由にあげてもらいました。

「年金が支給されるまで」(115 件)が最も多く、次いで「長く働いている方が元気でいられる、ぼけない、老け込まない、いきいきしている」(86 件)、「会社の定年まで」(72 件)の順となっています。

その一方で、「早く引退してふたりでのんびり暮らしたい(60 歳が多い、他に 65 歳、55 歳など)」(23 件)、「この年齢まで働いてくれれば十分(大半が 60 歳)」(9 件)と、早めの年齢を上げる人も多くいます。

また、最近の年金問題を受けてのことなのか、「年金は当てにならない」(8 件)、「年金だけでは暮らせない」(3 件)といった内容もあげられています。

より詳しい報告書に関しては、下記 URL をご参照ください。

<http://diy.co.jp/news/index.html>

《本件に関するお問い合わせ先》

損保ジャパン DIY 生命保険株式会社
パブリック・リレーションズチーム 担当:杉山・袴田・山田
〒164-8685 東京都中野区中野 5-68-2
TEL:03-5345-7019